



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社 ソフト99コーポレーション
 コード番号 4464 URL <http://www.soft99.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ経営企画室長 (氏名) 田中 秀明
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日

TEL 06-6942-8761
 平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 10,664 | 0.1 | 925 | △14.3 | 1,024 | △12.5 | 574 | 94.6 |
| 23年3月期第2四半期 | 10,649 | 6.0 | 1,079 | 52.3 | 1,171 | 45.9 | 295 | △33.9 |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 653百万円 (24.4%) 23年3月期第2四半期 525百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 26.60 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 13.67 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 43,128 | 38,365 | 89.0 | 1,775.03 |
| 23年3月期 | 42,258 | 37,862 | 89.6 | 1,751.78 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 38,365百万円 23年3月期 37,862百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 7.00 | — | 7.00 | 14.00 |
| 24年3月期 | — | 7.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 7.00 | 14.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 21,500 | 2.9 | 2,000 | 5.0 | 2,150 | 3.5 | 1,250 | 13.2 | 57.83 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 22,274,688 株 | 23年3月期 | 22,274,688 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 660,891 株 | 23年3月期 | 660,891 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 21,613,797 株 | 23年3月期2Q | 21,613,861 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報等 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (7) 重要な後発事象 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により当初は生産活動の低下や企業収益の増勢が鈍化し、その後のサプライチェーンの急速な立て直しにより回復に向かったものの、夏季の節電対策の影響や円高の進行、そして海外の不安定な金融情勢を背景に、景気の先行きは不透明な状況となりました。

このような経済状況の下で、当社グループ（当社及び連結子会社6社）は、今期より経営理念を「生活文化創造企業」に一新し、お客様に長く愛される製品・サービスの創出を目指して営業活動に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,664百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益925百万円（同14.3%減）、経常利益1,024百万円（同12.5%減）となりましたが、前期に計上していた投資有価証券評価損がなくなったことで、四半期純利益は574百万円（同94.6%増）となりました。

報告セグメントごとの営業の業績は次のとおりであります。

(ファインケミカル)

自動車生産の停滞による新車販売の減少をはじめ、自動車を取りまく環境は不透明な状況で推移しました。一方で個人消費については当初は消費者心理の冷え込みや自粛ムードにより急速に悪化したものの、消費マインドは回復傾向が見られました。

このような中、消費者向け製品販売においては、「ガラコワイパーパワー撥水」を中心としたワイパーや、自動車用補修材「99工房」の販売が、取り扱い店舗の増加により期初から好調に推移しました。しかしながら、平年より短い梅雨や猛暑の影響もあり、夏場を中心に主力の自動車ボディお手入れ製品や自動車ガラス用撥水剤の販売が苦戦しました。

そして、業務用製品の販売においては、前年同期はエコカー補助金終了前の駆け込み需要がありましたが、今期は供給不足による新車販売低迷の影響を受け、新車販売時に施工されるコーティング剤の販売が苦戦しました。

一方、家庭用品では、主力のメガネ用製品の販売が苦戦し、新製品等の販売で落ち込みをカバーできませんでした。

海外向け販売では、ロシア向け販売が好調に推移したものの、中国や東南アジア向け販売が苦戦しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるファインケミカル事業部門は、主に業務用製品の販売が苦戦したことで、売上高は4,965百万円（前年同期比3.2%減）となり、この販売減少により高付加価値製品の販売構成比が減少したことで、営業利益は338百万円（同28.0%減）となりました。

(ポーラスマテリアル)

産業資材部門におきましては、半導体業界の一部の得意先において、夏季の節電対策のための備蓄生産の動きにより受注が増え、夏季以降はその反動も小さく、国内外の主要得意先からの受注も順調に推移したことから、前年を上回る売上高となりました。

生活資材部門におきましては、米国向け自動車製品の販売が落ち込みましたが、国内向け販売で、猛暑・節電対策商品として気化熱利用の冷却グッズ等の生活用品の販売増加が輸出の落ち込みをカバーしたことで、ほぼ前年並みの売上高となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるポーラスマテリアル事業部門の売上高は2,463百万円（同6.7%増）となり、産業資材部門の売上高増加に加え、工場の順調な操業により、営業利益は339百万円（同5.9%増）となりました。

(サービス)

自動車関連サービスにおきましては、新車販売の低迷やレジャー自粛の影響により、自動車サービスを取りまく市場環境が変化する中においても、整備や钣金の受注獲得のために積極的な営業活動を行いました。その結果、新規取引先の開拓がすすみ、前年並みの売上高となりました。

自動車教習事業におきましては、若年層の運転免許取得者の減少や、競合校の価格攻勢等の厳しい事業環境の下、普通免許から大型免許そして二輪免許まで幅広い教習内容を持つ強みを活かした営業活動を行ってまいりました。その結果、普通免許の閑散期において大型免許等の入所者を増やしたことで稼働が向上し、あわせてエコドライブ講習等の企業向け研修や資格講習の受注が順調に推移したことで、前年を上回る売上高となりました。

一方、生協向けの生活用品企画販売事業におきましては、防災・節電関連商品の販売が増加したことで、前年を上回る売上高となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるサービス事業部門は、売上高が2,535百万円（同1.2%増）となりましたが、自動車関連サービス事業の拡大のための人員増強に伴う費用の増加により、営業利益は108百万円（同21.6%減）となりました。

(不動産関連)

不動産賃貸事業におきましては、当社の所有する主な物件で賃料収入が安定し、ほぼ前年並みの売上高となりました。

温浴事業におきましては、3店舗それぞれにおいて、オリジナル飲食メニューの提供や周年祭をはじめとした独自イベントの実施等、お客様満足度向上や来店頻度向上の為の活動に取り組みました。しかしながら、来店客数はほぼ前年並みとなったものの、不要不急の消費支出を抑える消費マインドの低迷により客単価が上がり、前年を下回る売上高となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における不動産関連事業部門の売上高は701百万円（同1.0%減）、営業利益は134百万円（同8.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は43,128百万円（前連結会計年度末は42,258百万円）となり、869百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が794百万円、受取手形及び売掛金が169百万円、たな卸資産が178百万円、投資有価証券が647百万円、長期性預金が300百万円増加したことや、有価証券が1,312百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、4,763百万円（前連結会計年度末は4,396百万円）となり、367百万円増加しました。これは主に、仕入債務が82百万円、未払法人税等が149百万円、退職給付引当金が39百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は38,365百万円（前連結会計年度末は37,862百万円）となり、502百万円増加しました。これは主に、四半期純利益574百万円、その他有価証券評価差額金77百万円の増加と、配当金の支払151百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は6,826百万円（前連結会計年度末は7,915百万円）となり、1,088百万円減少いたしました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は910百万円の流入（前年同期比154.1%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,014百万円、減価償却費380百万円となり、また、売上債権が169百万円、たな卸資産が177百万円それぞれ増加したことと、法人税等の支払額219百万円を要因としております。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1,827百万円の支出（同39.1%増）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,183百万円、有形固定資産の取得による支出457百万円と、有価証券・投資有価証券の取得による支出1,027百万円、有価証券・投資有価証券の売却及び償還による収入819百万円を要因としております。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、171百万円の支出（同10.9%増）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、ほぼ計画通りに推移いたしました。また、連結営業利益、連結経常利益及び四半期純利益は当初予想を上回る結果となりました。これにより、通期の業績予想を連結売上高21,500百万円、連結営業利益2,000百万円、連結経常利益2,150百万円、連結当期純利益1,250百万円に修正いたしました。

なお、当該業績予想の修正の詳細につきましては、本日公表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び平成24年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,166,659 | 7,961,352 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,064,040 | 3,233,645 |
| 有価証券 | 1,614,821 | 302,543 |
| 商品及び製品 | 1,250,946 | 1,345,083 |
| 仕掛品 | 269,399 | 315,960 |
| 原材料及び貯蔵品 | 531,024 | 568,681 |
| 繰延税金資産 | 276,786 | 290,345 |
| その他 | 291,477 | 336,200 |
| 貸倒引当金 | △21,234 | △20,654 |
| 流動資産合計 | 14,443,922 | 14,333,158 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,076,256 | 5,026,731 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,080,957 | 1,019,892 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 111,819 | 104,229 |
| 土地 | 15,642,845 | 15,756,815 |
| 建設仮勘定 | 45,453 | 85,834 |
| その他（純額） | 86,374 | 43,338 |
| 有形固定資産合計 | 22,043,707 | 22,036,842 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 65,971 | 58,431 |
| その他 | 152,729 | 143,514 |
| 無形固定資産合計 | 218,701 | 201,946 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,603,005 | 5,250,819 |
| 長期預金 | 300,000 | 600,000 |
| 繰延税金資産 | 468,963 | 339,813 |
| その他 | 261,002 | 441,831 |
| 貸倒引当金 | △80,438 | △75,686 |
| 投資その他の資産合計 | 5,552,532 | 6,556,778 |
| 固定資産合計 | 27,814,941 | 28,795,566 |
| 資産合計 | 42,258,863 | 43,128,725 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,013,621 | 1,096,292 |
| 未払法人税等 | 226,894 | 376,109 |
| 未払金及び未払費用 | 900,781 | 902,035 |
| その他 | 417,378 | 435,045 |
| 流動負債合計 | 2,558,675 | 2,809,484 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 960,548 | 1,000,407 |
| 役員退職慰労引当金 | 462,626 | 418,247 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 76,762 | 76,762 |
| その他 | 337,447 | 458,589 |
| 固定負債合計 | 1,837,384 | 1,954,007 |
| 負債合計 | 4,396,060 | 4,763,491 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,310,056 | 2,310,056 |
| 資本剰余金 | 3,116,158 | 3,116,158 |
| 利益剰余金 | 32,624,099 | 33,047,786 |
| 自己株式 | △329,968 | △329,968 |
| 株主資本合計 | 37,720,346 | 38,144,033 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,705 | 85,056 |
| 土地再評価差額金 | 110,463 | 110,463 |
| 為替換算調整勘定 | 24,288 | 25,680 |
| その他の包括利益累計額合計 | 142,457 | 221,200 |
| 純資産合計 | 37,862,803 | 38,365,233 |
| 負債純資産合計 | 42,258,863 | 43,128,725 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 10,649,411 | 10,664,504 |
| 売上原価 | 6,782,961 | 6,987,978 |
| 売上総利益 | 3,866,450 | 3,676,526 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,787,146 | 2,751,402 |
| 営業利益 | 1,079,304 | 925,123 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 33,198 | 25,360 |
| 受取配当金 | 20,880 | 23,373 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 9,821 |
| その他 | 41,486 | 45,814 |
| 営業外収益合計 | 95,565 | 104,368 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 298 | 304 |
| その他 | 3,466 | 4,518 |
| 営業外費用合計 | 3,764 | 4,823 |
| 経常利益 | 1,171,104 | 1,024,669 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,190 | — |
| 固定資産売却益 | — | 188 |
| 特別利益合計 | 1,190 | 188 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 353,557 | — |
| 投資有価証券売却損 | — | 414 |
| 固定資産売却損 | 30,772 | — |
| 固定資産除却損 | 6,550 | 10,022 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 25,977 | — |
| その他 | 4,311 | 30 |
| 特別損失合計 | 421,168 | 10,466 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 751,126 | 1,014,391 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 463,162 | 377,569 |
| 法人税等調整額 | △17,605 | 61,837 |
| 法人税等合計 | 445,557 | 439,407 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 305,569 | 574,983 |
| 少数株主利益 | 10,041 | — |
| 四半期純利益 | 295,527 | 574,983 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 305,569 | 574,983 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 220,545 | 77,351 |
| 為替換算調整勘定 | △619 | 1,391 |
| その他の包括利益合計 | 219,926 | 78,743 |
| 四半期包括利益 | 525,495 | 653,727 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 515,454 | 653,727 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 10,041 | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 751,126 | 1,014,391 |
| 減価償却費 | 375,623 | 380,315 |
| のれん償却額 | 3,590 | 7,540 |
| 受取利息及び受取配当金 | △54,079 | △48,733 |
| 支払利息 | 298 | 304 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △379,073 | △169,165 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △96,351 | △177,780 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 95,932 | 82,513 |
| その他 | 296,896 | △5,414 |
| 小計 | 993,962 | 1,083,971 |
| 利息及び配当金の受取額 | 55,100 | 46,237 |
| 利息の支払額 | △653 | △544 |
| 法人税等の支払額 | △690,249 | △219,470 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 358,160 | 910,194 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △6,739 | △1,183,479 |
| 有価証券の取得による支出 | △200,881 | △99,960 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 400,082 | 402,737 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,306,339 | △457,071 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 32,387 | 30,062 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △528,941 | △927,277 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 2,698 | 416,309 |
| その他 | 293,565 | △8,957 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,314,168 | △1,827,636 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △50 | — |
| 配当金の支払額 | △154,139 | △151,296 |
| その他 | △617 | △20,351 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △154,806 | △171,647 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △59 | 226 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,110,873 | △1,088,863 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,016,532 | 7,915,682 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,905,659 | 6,826,819 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|---------------------------|--------------|---------------|-----------|---------|------------|------------|------------------------------|
| | ファイン ケミカル | ポーラス マテリアル | サービス | 不動産関連 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,127,864 | 2,308,484 | 2,504,693 | 708,369 | 10,649,411 | — | 10,649,411 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 15,888 | 24,164 | 9,352 | 49,110 | 98,515 | (98,515) | — |
| 計 | 5,143,753 | 2,332,648 | 2,514,046 | 757,479 | 10,747,927 | (98,515) | 10,649,411 |
| セグメント利益 | 470,359 | 320,912 | 138,314 | 146,217 | 1,075,803 | 3,501 | 1,079,304 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っており、セグメント利益の調整額3,501千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|---------------------------|--------------|---------------|-----------|---------|------------|------------|------------------------------|
| | ファイン ケミカル | ポーラス マテリアル | サービス | 不動産関連 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,965,013 | 2,463,476 | 2,535,011 | 701,003 | 10,664,504 | — | 10,664,504 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 16,419 | 17,480 | 6,841 | 47,818 | 88,559 | (88,559) | — |
| 計 | 4,981,432 | 2,480,957 | 2,541,852 | 748,822 | 10,753,064 | (88,559) | 10,664,504 |
| セグメント利益 | 338,677 | 339,856 | 108,372 | 134,166 | 921,073 | 4,050 | 925,123 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っており、セグメント利益の調整額4,050千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(連結子会社同士の合併)

当社の連結子会社であるアスモ株式会社及び株式会社パナックスは、平成23年10月1日付で、アスモ株式会社を存続会社として合併いたしました。

1. 合併の目的

グループ2社の経営資源を統合・集中し新たな経営管理体制に移行することにより、当社グループ全体の事業の効率化を目的とするものです。

2. 合併の要旨

(1) 合併期日

平成23年10月1日

(2) 合併の方式

アスモ株式会社を存続会社とする吸収合併方式とし、株式会社パナックスは解散いたします。

(3) 合併比率等

当社の100%完全子会社間の合併であるため、合併比率の取り決めはありません。また、合併による新株式の発行及び資本金の増加もありません。